

建物助成

【大森議員】

自己居住用建物などの改善助成は、制度改正前に比べ半分以上に申請件数が減っている。

PR 不足などが原因ではないか。

【観光商工課長】

申請件数が減っているのは、制度を活用し建物の改修を済ませた町民が多いからだと思われる。広報や商工会を通じての周知はしており、PR 不足はないと考えている。

6次産業

【吉原議員】

6次産業化の支援が、もうかる農業に結び付いているか。

【農林水産課長】

お茶、ピーナッツ、自然薯の6次産業化を支援しているが、取り組みは始まったばかりで成果はこれからである。



6次産業化をめざすピーナッツ

職員提案

【西山議員】

平成26年度に職員提案で予算化され行われた事業があるか。

【総務課長】

職員提案の制度は導入しているが、今回の決算で執行した事業はない。

討 論

【反対…近藤議員】

合併後10年が経過するが、恵みの里構想を担うべき恵みの里公社と観光局は、連携すらとれていない。

行財政改革も順調とは言

えず、賃金、委託料は増えている。積み上がった基金の使用も不明確で、計画性に欠ける。

繕料と火災保険料を支出し

ているが、統一すべきだ。また、進学奨励金や地区学習会は、同和地区を固定化している。

【賛成…杉谷議員】

火災保険料の支払いなどは、集会所条例に基づき協議のもとで決められている。不公正ではない。

【賛成…加藤議員】

平成26年度の予算は議会の議決に基づいている。執行部は粛々と予算を執行し、不正な支出も見られない。

【反対…大森議員】

町長の施政方針に関する点は予算で問うべきで、決算で問うべきではない。

同和地区も地区外もない町にすることが、同和問題の真の解決につながる。1億円以上の経費が支出された同和事業は終了し、一般施策に移行すべきだ。

【反対…圓岡議員】

集会所条例で定められた集会所のうち、一部のみを修

また、町道退休寺線の観光道路としての役割には疑問がある。